

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	交通遺児対策事業	所管	市民経済部 交通安全課
			Tel 2998-9140

事業の目的 (何の為に 行うか)	交通事故により保護者を失った交通遺児に対し奨学金及び遺児手当を支給し、向学心の高揚を図ることを目的とする。
------------------------	-------------------------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	交通遺児が義務教育を終了するまで、市内に住所を有し生計を同じくする保護者。	対象とした数	4	世帯
		実際に 利用した数	6	人

活動の内容	(何を したか)	保護者の申請により、交通遺児手当では、保護者に対し義務教育終了以前の遺児一人に月額5,000円、奨学金については、遺児一人に小学校及び中学校入学者に対し50,000円、高等学校入学者には80,000円を支給する。								
		活動実績	項目名	交通遺児数	6	項目名	手当支給額(合計)	360000	項目名	奨学金支給額(合計)
				単位 人			単位 円			単位 円

経費 (どれだけ かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	440	440	2,976	8.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	対象者の高校進学率	高校に進学した遺児÷中学校を卒業した遺児	100	100	100.0
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []					終了
		予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	031000	TEL	2998-9140
事業コード	交通遺児対策事業	担当部課	市民経済部 交通安全課			
031015		グループ	交通安全・自転車対策			
開始年度		昭和 45 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市交通遺児手当支給条例 所沢市交通遺児手当支給条例施行規則 所沢市交通遺児奨学金基金条例			
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	4節 交通安全
		中柱	4 被害者救済対策の充実	小柱	(1)交通災害救済事業の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 14 位		・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	市民の知りたい情報の提供		コード	
	1111				
	事業開始の背景	急速な車社会の到来により交通事故が全国で多発。交通事故で保護者を亡くした子どもたちへの支援策として制度化された。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)					
	交通事故により保護者を失った交通遺児に対し奨学金及び遺児手当を支給し、向学心の高揚を図ることを目的とする。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	交通遺児が義務教育を終了するまで、市内に住所を有し生計を同じくする保護者。			交通遺児数		
	対象数	単位	平成 18 年度	4	世帯	7
		平成 19 年度	4	世帯	6	人
	事業の具体的な内容及び実施方法					
	保護者の申請により、交通遺児手当では、保護者に対し義務教育終了以前の遺児一人に月額5,000円、奨学金については、遺児一人に小学校及び中学校入学者に対し50,000円、高等学校入学者には80,000を支給する。					

④前年評価と改善点	最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		520	440	550	
	決算 (見込み含む)		520	440		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.06 人	552	0.27 人	2,536
	公債費					
	事業費合計		1,072	2,976		
	財源内訳	一般財源		552	2,536	0
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他		520	440	550	
	市民一人当たり(単位:円)		3.2	8.8		
	利用数一単位あたり(単位:円)		153,142.9	496,063.3		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	交通遺児数	交通遺児数	人	7	6	7
		手当支給額(合計)	一人当たり月額5,000円	円	420,000	360,000	420,000
		奨学金支給額(合計)	小・中学校入学者×50,000円 高校入学者×80,000円	円	100,000	80,000	130,000
	成果分析	対象者の高校進学率	高校に進学した遺児÷中学校を卒業した遺児	%	目標値 100	実績 100	100
			%	達成率 100.0	100.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	○交通遺児の把握が十分にされていない。○広報や市内小・中学校を通じての周知や、制度の適切な運営を図る。		

⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定 手当、奨学金の支給	手当については9月3月に、奨学金については6月に支給する。	

⑨評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由					
	手当、奨学金を支給することにより、交通遺児家庭の経済的支援の一助となっていることから、今後も事業を継続する。					
	評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	交通安全課長 糟谷 守		

⑩個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日				<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑪個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	3242
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります		
	主要課題	2子育てに快適な環境づくり		
	施策の方向	4交通安全対策の充実		